

技術・家庭科

テーマ

「知識・技能の技術向上を目指した ICT 活用授業」

1 本時の学習のねらい

家庭「1 学年 布を用いた製作」「2 学年 調理実習」

技術「2 学年 木材加工」

- ・動画を見ながら自分の作業課程を確認していく。(知識及び技能)

2 研究への取り組み

- ・タブレットで画像や動画を視聴し、ポイントや注意点を確認しながら作業をおこなうことで、生徒のつまずきや進度の遅れ、失敗が少なくなるようにすることや、主体的に作業に取り組むことができるようにすることを目指す。
- ・大画面の電子黒板にデジタル教科書や画像を投影することで、重要な箇所を拡大して表示したりポイントを書き加えたり、知識の理解や定着につなげていく。

3 主な学習活動

	主な学習活動と活用した ICT 機器・教材・コンテンツ等
全体活動	①作業全体の見通しをもつ。補足的に映像を活用しながら理解を深める。
個別対応	②自分がわからなかったところを確認し、それぞれが自分のペースで作業に取り組み完成日までの完成を目指す。
定着、学力向上の確認	③画像を見ることで、自分で「知識・技能」にかかわる力の理解度や変容を確認する。

4 授業の実践より ～ICT 活用の効果と課題～

○成果

- ・作業に入る前に動画を活用し視覚的に見ることでイメージが付きやすい。そのため、説明も理解しやすくなった。また、生徒自らが、さらに理解しようと教科書を何度も見直したり、説明書を確認したりわからないところや深く理解したいところを自分のペースで確認する姿が見られた。
- ・動画をみながらやってみたい、作ってみたいという気持ちが高まり意欲を持って作業を進める生徒が増えた。
- ・視覚的に見ることで作業の技術が向上する生徒が数名見られた。
- ・個々に教えることが以前よりも減り、教師自身もより理解ができていない生徒にじっくりと教えることができた。

●課題

- ・Wi-Fi のルーターが被服室・調理室・木工室・金工室になく、ネット・QR コードでの動画を視聴させることに苦労した。今後デジタル教科書等が教科に設置されることが多くなることや Wi-Fi の電波の状況が良くなると子どもたちの個人での活用も多くなり、理解しやすくなる。また、生徒が使用するタブレット等の端末のスペックやインストールされているアプリなど、ハードウェア・ソフトウェアの両面を見極めながら、授業のどの場面でどのように使用するのが効果的なのか検討していく必要がある。

5 ICT を効果的に活用するポイントなど

- ・生徒自身が個人のタブレットでの教科書にある QR コードの読み込みやネット検索を行い、自分がより理解しやすいものを取捨選択していくと、作業がさらに進むと感じた。タブレットなどをより使用しやすい環境づくりや授業での声かけや使用を心がけるなど、学習者が自分のペースで学習が進むような使い方を教師側も工夫していく必要がある。



確認したいところ・わからなかったところを
画像や教科書で確認し
て作業を進めている。



個人で必要に
応じて、画像
を確認する。